

## V 臨床指数（クリニカルインディケータ）

### 救急センターで対応したCPA症例

#### 年齢別CPA症例数

0～9		10～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80～89		90～99		100～109		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	5	0	6	3	19	9	27	22	7	20	0	2	69	59
1		0		2		2		3		5		9		28		49		27		2		128	

#### 月別CPA症例数

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	5	4	5	2	4	5	1	6	6	4	2	7	4	9	4	14	9	5	8	9	7	2	4	69	59
7		9		6		6		12		6		11		13		23		13		16		6		128	

#### 心肺蘇生により自己心拍再開した例

31例 (24.2%)

軽快退院	2例 (1.6%)	平均在院日数	16日 (14日～18日)
転院	4例 (3.1%)	平均在院日数	51.6日 (14日～76日)
死亡	25例 (19.5%)	平均併存期間	5.0日 (1日～21日)

#### CPA症例のICD大分類

01) 感染症および寄生虫症	7
02) 新生物	6
04) 内分泌・栄養および代謝疾患	2
09) 循環器系の疾患	65
10) 呼吸器系の疾患	5
11) 消化器系の疾患	1
18) 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8
19) 損傷、中毒およびその他の外因の影響	2
20) 傷病および死亡の外因	28
不明	4
	128

#### CPA症例の疾患別分類

感染症および寄生虫症	7	呼吸器系の疾患	5
肺炎	5	誤嚥性肺炎	3
敗血症	1	肺気腫	2
COVID-19	1	消化器系の疾患	1
新生物	6	消化管出血	1
肺癌	2	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8
胃がん	1	老衰	7
食道癌	1	多臓器不全	1
転移性肝がん	1	損傷、中毒およびその他の外因の影響	2
悪性肩軟部腫瘍	1	外傷性気胸	1
内分泌・栄養および代謝疾患	2	大腿骨開放骨折	1
高カリウム血症	1	傷病および死亡の外因	28
低血糖	1	誤嚥	18
循環器系の疾患	65	縊頸	5
心不全	11	溺水	3
急性冠症候群	22	熱中症	1
解離性大動脈瘤	9	睡眠薬自殺未遂	1
致死性不整脈	6	不明	4
胸部大動脈瘤破裂	3		
腹部大動脈瘤破裂	2		128
肺塞栓症	1		
脳出血	3		
脳梗塞	1		
虚血性心疾患	6		
全身性エリテマトーデス心膜炎	1		

## 消化器内科

### 【内視鏡件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	277	319	364	335	420	411	463	462	457	353	301	323	4,485
下部内視鏡	143	118	141	129	139	144	147	148	135	126	126	133	1,629
大腸良性EMR	31	29	34	33	35	54	53	48	39	35	38	42	471
大腸癌EMR	3	2	1	1	3	4	2	4	3	5	5	4	37
ERCP	28	18	17	25	18	30	24	23	16	25	11	26	261
ESD	3	3	4	3	2	3	5	3	2	4	4	2	38
EIS	2	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	2	10
その他	1	1	3	0	3	2	0	1	3	3	2	1	20

### 《肝胞癌に対する治療》

RFA : 1 例

PEIT : 0 例

TACE : 27 例

(RFA：経皮的ラジオ波焼灼療法 PEIT：経皮的エタノール注入療法 TACE：肝動脈化学塞栓療法)

## 血液内科

### 新規患者数

特発性血小板減少性紫斑病	15
慢性骨髄性白血病	1
急性白血病	10
悪性リンパ腫	33
慢性リンパ性白血病	4
多発性骨髄腫	10
骨髄異形成症候群	18
後天性免疫不全症候群	3
再生不良性貧血	4

造血幹細胞移植	2
---------	---

## 糖尿病代謝内科

1. 糖尿病の病名がついている 外来患者数	全ての科	実数：1,669名 延べ数：13,841名
	糖尿病代謝内科のみ	実数：1,381名 延べ数：6,840名
2. インスリンが1回でも処方 されている実患者数	外来	1,048名
	入院	134名
3. 糖尿病の病名がついている 入院患者数	全ての科	実数：309名 延べ数：478名
	糖尿病代謝内科のみ	実数：103名 延べ数：132名

## 循環器内科

経皮的冠動脈インターベンション (PCI)	256例
血管内治療 (EVT)	42例
腎動脈インターベンション (PTR)	0例
経皮的心筋中隔アブレーション (PTSMA)	0例
バルーン大動脈形成術 (BAV)	1例
永久ペースメーカー	
新規植込み	38例
交換	12例
リードレスペースメーカー	1例
植え込み型心電計	10例
カテーテルアブレーション	111例
下大静脈フィルター留置	3例
心筋生検	16例
心嚢ドレナージ	15例

呼吸器内科+呼吸器外科

肺癌	110例
小細胞癌	9例
腺癌	68例
扁平上皮癌	19例
大細胞癌	2例
LCNEC	0例
非小細胞癌	4例
腺扁平上皮癌	1例
多形癌	1例
粘表皮癌	1例
組織型不明	5例
悪性胸膜中皮腫	2例
縦隔腫瘍	0例
縦隔癌	4例
胸腺癌	2例
胸腺腫	2例
転移性肺腫瘍	7例
転移性癌性胸膜炎	0例
良性腫瘍	2例
リンパ腫	0例
原発不明癌	0例
化学療法	47例
外来化学療法	32例 (導入率68.1%)
EGFR-TKI	11例
ALK-TKI	1例
ROS1-TKI	1例
放射線治療	14例

## 消化器外科

2021. 1. 1 ～2021. 12. 31 消化器外科退院患者統計

入院患者数 678	男	416
	女	262

入院手術症例数	558
---------	-----

合併症96 (78症例)	感染症	32
	縫合不全	5
	呼吸器系	10
	循環器系	6
	出血	6
	脳血管障害	2
	腎	3
その他	32	

転帰	治癒	359
	軽快	255
	不変	30
	転科	22
	転院	10
	死亡	2
	悪化	0

「死亡」の内訳	良性	1	大腸穿孔：リンパ腫で抗がん剤治療中から術後ARDS
	悪性	1	原病死（閉塞性S状結腸癌術前の敗血症から術後多臓器不全）

平均入院日数 11.0日

	食道 2例	肺炎
		薬剤性肝障害疑い
	胃十二指腸 10例	膵液瘻(2)
		縫合不全(2)
		表層SSI(2)
		深部SSI疑い(2)
		せん妄
		尿路感染疑い
		深部静脈血栓
		肺炎
		肺梗塞
		縦隔炎、左膿胸
	心不全	
	上部穿孔 1例	縫合不全
		腹腔内膿瘍
		急性腎不全
		薬剤性皮疹
		ARDS(2)
		胆のう炎
		敗血症(2)
腸閉塞(4)		

手術合併症  
総数558例  
合併症症例  
78例 (14.0%)

小腸 14例	湿疹
	慢性膵炎急性増悪
	腹腔内膿瘍
	肺炎
	排尿障害
	CO2ナルコーシス
	心肺停止
	表層SSI
	不整脈
肝臓 1例	門脈血栓
	難治性腹水
	食道静脈瘤破裂
	MRSA敗血症
胆嚢 8例	胆汁瘻(4)
	胆管損傷
	帯状疱疹
	腸閉塞
	冠攣縮性狭心症
	誤嚥性肺炎
	炎症遷延
	胃潰瘍出血の疑い
胆道 2例	菌血症
	胆管炎
膵 1例	膵液瘻GradeA
	深部SSI
大腸 15例	DIC、多臓器不全、死亡
	肺塞栓
	術後出血(2)
	ポートサイトヘルニア
	腸閉塞(4)
	縫合不全(2)
	神経因性膀胱
	カテーテル感染
	心筋梗塞
	偽痛風
	表層SSI
	ドレーン逆行性感染
下部穿孔 8例	死亡
	DIC(3)
	肺炎(3)
	ARDS(2)
	腹腔内膿瘍(4)(疑い含む)
	敗血症(2)
appe穿孔-1例	腹膜炎
appe穿孔+6例	イレウス(3)
	肺炎
	湿疹
	腹腔内出血
鼠径ヘルニア 3例	小腸壊死ReOpe(嵌頓例)
	感染(嵌頓例)
	尿閉

	へモ 2例	Altemeier後出血
		Altemeier後、耳下腺炎
	進行再発 1例	ストマ造設術後の腸閉塞
	その他 3例	脾膿瘍でLap脾摘後、膝液瘻と左内閉鎖筋内膿瘍
		褐色細胞腫で副腎摘出後、偽膜性腸炎
	腹部刺創で回復止血後、創離開と腸閉塞で再手術	

手術関連死亡 2例 (0.36%)	良性	大腸穿孔	82歳 女性 術後14日
	悪性	大腸癌術後	74歳 女性 術後26日

再手術症例 13例 (2.3%)	虫垂膿瘍で腹腔鏡下回盲部切除 → 腹腔内出血で審査腹腔鏡
	ヘルニア嵌頓でヘルニア根治術 → 回腸壊死で回盲部切除術
	胆嚢炎で胆摘（開腹移行） → 胆管損傷で胆管空腸吻合
	大腸憩室穿孔でハルトマン → 遺残膿瘍で開腹ドレナージ
	直腸癌で腹腔鏡下直腸切断術 → ポートサイトヘルニア、イレウスでイレウス解除、mesh修復
	NOMIで小腸大量切除 → 胆嚢炎で開腹胆摘
	鼠経ヘルニア嵌頓で腹腔鏡下癒着剥離 → 前方アプローチでヘルニア根治術
	癌性腹膜炎で腹腔鏡下横行結腸ストマ造設 → 腸閉塞で腹腔鏡下回腸ストマ造設
	肝硬変の肝癌で亜区域切除 → 難治性腹水のためドレーン抜去創の縫合閉鎖
	腹部刺創で開腹止血術後 → 創離開と腸閉塞で再手術
	直腸癌、肛門周囲膿瘍で切開ドレナージ → 腹腔鏡下ストマ造設
	直腸癌で腹腔鏡下低位前方切除術 → 縫合不全で腹腔鏡下回腸ストマ造設
	外傷性直腸膿瘍で縫合閉鎖 → 腹腔鏡下ストマ造設

予期しない術後 再入院13例 (2.3%)	痔核根治術 → 退院後に再出血（保存的軽快）
	憩室穿孔でストマ造設 → 絞扼性イレウスで解除術
	直腸脱でAltemeier手術 → 再発でGant三輪Thiersch
	直腸癌でMiles手術 → 癒着性イレウス（保存的軽快）
	胃癌で胃全摘、術後縫合不全で縦隔炎と左膿胸 → 左膿胸再燃、胸腔ドレナージ
	胆石症で腹腔鏡下胆のう摘出術 → 胆嚢癌判明により肝床切除やリンパ節郭清手術
	肝硬変の肝癌で亜区域切除 → 腹壁癒着ヘルニア嵌頓で縫合閉鎖

憩室穿孔でハルトマン術後 → 骨盤腹膜炎（保存的軽快）
TAPP術後 → 腹壁下血腫、腹壁膿瘍（保存的軽快）
大腸麻痺性イレウスで回腸ストマ → 癒着性イレウス（保存的軽快） → 回腸穿孔で手術
結腸癌切除、胃癌切除（2期的） → 癒着性イレウス（保存的軽快）
膵胆管合流異常で肝外胆管切除 → 胆管炎
膵頭部癌でSSPPD → 難治性下痢

予期しない術後再入院については、以下のような例は省略しています。

虫垂炎穿孔でドレナージのみ → 待機的虫垂切除

(一時的)ストマ造設 → ストマ閉鎖術（良性・悪性問わず）

同時性肝転移のある大腸癌で、大腸切除 → 肝切除

切除不能癌に対する姑息的手術 → 癌増悪（入院日の予期はできないが、いずれ想定されていたため）

また、全く関連がないと考えられる疾患（悪性腫瘍と単径ヘルニアなど）も除外しています。



## 整形外科

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 令和3年 地域連携パスの実績

① 総患者数	233名	[令和2年 189名]
② 治療方法	手術療法	233名
③ 地域連携パス利用率（人数・平均年齢）	53.4%、 119名・84.6歳	[令和2年 64.0%、 121名・85.4歳]
④ 当院での在院日数		
i) 全体	22.8日	(死亡等6名を除く) [令和2年 25.5日]
ii) 地域連携パス利用者	19.4日	[令和2年 21.8日]
iii) 地域連携パス除外者	27.3日	(死亡等6名を除く) [令和2年 32.3日]
⑤ 手術から転院・退院までの日数		
i) 全体	25.5日	(死亡等6名を除く) [令和2年 22.7日]
ii) 地域連携パス利用者	19.1日	[令和2年 19.0日]
iii) 地域連携パス除外者	13.9日	(死亡等6名を除く) [令和2年 29.6日]
⑥ 総治療日数（地域連携パスを利用し、当院から回復期リハビリ病院を経て在宅復帰が達成できるまでの期間）	84.6日	[令和2年 83.2日]

## 泌尿器科

再手術症例	2例
TUR後出血 陰嚢水腫術後出血	
手術創感染	なし
前立腺生検	102件 うち癌検出70件
前立腺生検後菌血症	なし

脳神経外科

location	O to D	D to I	D to P	P to R	D to R	O to R	TICI	pre-mRS	ent-mRS	90days -mRS	preCT-ASPECT
Rt. M1d	0:59	0:13	0:45	0:29	1:14	2:13	3	3	4	4	10
Rt. M1d	1:15	0:23	0:57	0:10	1:07	2:22	3	0	5	5	6
Rt. M1d	2:30	0:10	0:50	0:13	1:03	3:33	3	2	3	3	8
Rt. M2	1:32	0:21	1:33	0:26	1:59	3:31	3	3	3	2	8
Rt. M1d	2:01	NA	0:28	0:09	0:37	2:38	3	4	4	6	10
Lt. ICA	0:43	NA	0:33	0:22	0:55	1:38	3	0	5	5	9
Lt. M2	1:42	0:12	0:43	0:35	1:18	3:00	2b	4	4	4	10
Lt. M2	2:36	0:12	0:41	0:11	0:52	3:28	3	0	6	6	10
Rt. M1d	1:07	0:12	0:41	0:16	0:57	2:04	2c	3	5	5	7
Lt. CCA	1:58	0:14	0:48	0:33	1:21	3:30	2b	2	6	6	6
Rt. P1	NA	0:45	1:31	0:55	2:26	NA	2b	0	2	0	10
Rt. M1d	1:16	0:10	0:43	0:59	1:42	1:59	2b	4	4	4	10
Lt. M2	3:54	0:31	1:27	0:17	1:44	3:38	2c	0	1	1	8
Rt. ICA	0:42	0:09	0:48	0:24	1:12	1:54	3	0	1	1	10
Lt. M1d	NA	0:16	0:46	0:11	0:57	NA	2b	1	6	6	7
Rt. M1d	0:20	NA	0:18	0:21	0:39	0:59	2b	0	2	1	10
Rt. M1p	NA	0:09	0:37	0:29	1:06	2:06	2b	3	6	6	7
Rt. M2	0:27	0:10	0:39	0:24	1:03	1:30	3	0	3	3	10
Rt. ICA	NA	0:15	0:39	0:08	0:47	NA	3	1	1	1	10
BA	2:00	0:09	0:46	0:16	1:02	3:02	2b	0	3	3	10
Rt. M2	0:50	0:13	0:42	0:15	0:57	1:47	3	2	2	2	10
Rt. M2	0:16	0:18	0:40	0:21	1:01	1:17	3	0	0	0	10
Lt. ICA	0:46	0:21	0:56	0:34	1:30	2:27	2b	0	0	0	10
Rt. M1p	4:24	0:11	0:41	0:21	1:02	5:26	3	0	0	0	10
Lt. M1d	1:15	0:04	0:42	0:18	1:00	2:15	3	3	6	6	7
Lt. M2	NA	0:29	2:27	0:24	2:51	NA	2b	1	3	3	9
BA	0:03	0:12	0:32	0:19	0:51	0:54	3	1	0	0	9
BA	4:22	0:10	1:34	0:56	2:30	5:52	3	4	4	4	9
Rt. M1d	4:52	0:26	0:57	0:19	1:16	6:38	3	2	2	2	10
Lt. M1d	2:41	0:14	0:54	0:13	1:07	4:18	2b	0	2	2	7
Lt. M1d	0:48	0:08	0:43	0:19	1:02	1:50	3	2	4	4	10
Rt. ICA	2:02	0:23	1:23	0:43	2:06	4:08	2b	0	2	2	10
Rt. VA	0:00	0:17	0:36	0:02	0:38	0:38	3	0	1	1	8
Lt. M2	2:09	0:13	1:41	0:18	1:59	4:30	3	0	0	0	10
Lt. M1d	0:43	0:36	1:38	0:13	1:51	2:34	2b	0	4	未	9
BA	0:51	0:04	0:38	0:10	0:48	1:39	2b	0	5	5	10
Rt. M1d	0:50	0:11	0:39	0:16	0:55	1:45	2c	0	2	2	9

有効再開通率(2B-3)	100%	目標
OtoR	2:22 中央値	2時間以内
DtoR	1:03 中央値	1時間以内
OtoD	1:15 中央値	1時間以内
DtoI	0:13 中央値	15分以内
DtoP	0:43 中央値	40分以内
PtoR	0:19 中央値	20分以内
90days mRS0-2 率	0.459	1例未確認
90days mRS0-3 率	0.583	1例未確認
血栓回収件数	37 件	60%以上

## 麻醉科

麻醉科管理症例数 2,655  
 (全手術症例数 4,238)

麻醉別分類	症例数
全身麻酔	1,929
全身麻酔＋硬膜外（脊髄くも膜下）麻酔	429
硬膜外麻酔＋脊髄くも膜下麻酔	0
硬膜外麻酔	0
脊髄くも膜下麻酔	143
その他	154
緊急症例数	260
重大な医療事故症例数	1

## 歯科口腔外科

1. 入院患者数	480人
	男 210人
	女 270人
2. 平均年齢	39.75歳
3. 平均入院日数	4.0日
4. 入院内訳	480症例
	予定入院 450症例
	予定外入院 26症例
5. 術後合併症	緊急医療入院 4症例
	下顎智歯抜歯後知覚鈍麻 6症例